

News Releases

報道関係者各位

『アルバトロス防護構台』屋根材×鋼材のハイブリッド型で 歩行者へ平常時と変わらない安全な環境を提供

2024年8月22日

株式会社 杉孝（本社：神奈川県横浜市 代表取締役 社長執行役員：杉山 亮「SUGIKO」）は、「横浜市旧市庁舎街区活用事業」のうちタワー棟工区を請け負う鹿島建設株式会社（代表取締役社長：天野 裕正「鹿島」）へ、当社製品『アルバトロス防護構台※1』の屋根材と鋼材を組み合わせるハイブリッド型の工法を提案し、採用されました。

屋根材と鋼材を組み合わせるハイブリッド型は、屋根材を支える鋼材を通路に沿って長く渡すことで、道路側の柱を細かい間隔で立てる必要がなく、任意の位置に設置することができます。そのため、開口部を通路方向に広く取ることができ、バス停や横断歩道をかかわして設置することが可能となります。歩行者は安全性が保たれ、工事前の平常時と変わらない環境で通路を利用することができます。

この工事全体の取りまとめを行う鹿島の工事担当者からは、「H鋼材と防護屋根材を地上で組立ててユニット化することができたため、クレーンでの揚重回数が削減でき、作業効率が向上した。道路にはバス停があることで、防護構台の設置工事ができる時間も限られていたが、作業時間が短縮された。」といったコメントがありました。

SUGIKOでは、仮設機材における建設現場の省力化や、第三者災害を出さない安全な現場環境を実現するためのサポートを続けていきます。

【現場概要】

現場名：横浜市旧市庁舎街区活用事業

機材名称：アルバトロス防護構台専用落下防護屋根

特徴：朝顔と同等の強度がある | 仮設業界唯一の防護構台システム | アルインコ社と特許出願中
周囲の景観を崩しにくい | 雨漏りしない



※1・・・建設現場の落下物から歩行者を守るための屋根付き構台

※2・・・窓や出入口など、開口部のすぐ上に取り付けられた横材を指す

お問い合わせ 株式会社 杉孝 広報担当：福家（ふけ）

TEL：045-444-0835 E-MAIL：s-fuke@sugiko.co.jp 携帯：090-9017-8667